

八戸・久慈自動車道整備促進住民大会

# 安全な道必要です!

新幹線がないこの地域にこそ道路は必要! —と強く訴えました

本市と八戸市を結ぶ高規格道路「八戸・久慈自動車道」の1日も早い整備の促進を訴える、八戸・久慈自動車道整備促進住民大会が8月25日、アンバーホールで行われました。昨年に続き2回目の開催で、市民や関係団体のほか、管内、八戸市などから約1000人が参加しました。

オープニングセレモニーでは、長内小学校の児童6人が「新幹線や高速道路から遠いところだからこそ道づくりが必要」「災害に強い道、安全・安心な道の整備を」などとメッセージを読み上げました。

大会実行委員長の大槻静子氏や鈴木俊一、大島理森衆議院議員らが「道路はつながることで利便性が生まれる」「この地域は、必要な道路すら作られていない。これからも官民一体の運動を展開してほしい」などあいさつ。山内隆文市長は「道路整備を要望しつつ、わたしたち住民も、本当に必要な道路とはどんな道か考える必要がある」と訴えました。

基調講演では、国土交通省

高度道路交通システム推進室長の塚田幸広氏が「地域振興における道路整備の役割」と題して講演。「みんなで創る道・みんなで使う道」と題して行われたパネルディスカッションでは、久慈管内の高校生5人が出席。「道路は大事ですが、環境を壊してまでの道路を整備する必要があるのでしょうか」「琥珀タワーを設置するなど久慈らしい道を」など、高校生らしくぎゅぎゅと、最後に、八戸・久慈自動車道整備促進住民会議の細谷地諄吉会長から塚田室長に、自



当日の会場でも懸命の署名活動が行われました

動車道の整備を願う署名(約29000人分)が手渡されました。

## ■八戸・久慈自動車道

八戸市(青森県)を起点に、階上町(同)、洋野町を経て本市へとつながる、延長約50<sup>+</sup>kmの自動車専用道路。平成5年12月に久慈市側の区間で3.2<sup>+</sup>km、平成17—18年に八戸市側の区間で7.2<sup>+</sup>kmが供用開始されています。この自動車道が整備されると、久慈—八戸の所要時間(現在70分)が約20分短縮されます。

